

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2014-52090(P2014-52090A)

【公開日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-015

【出願番号】特願2012-194940(P2012-194940)

【国際特許分類】

**F 2 4 F 13/30 (2006.01)**

【F I】

F 2 4 F 1/02 4 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月30日(2014.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

第一熱交換器孔形状嵌合部 3 1 A と第一熱交換器突起形状嵌合部 3 A とを嵌合することにより背面筐体 3 に対して垂直方向の動きを抑制し、第二熱交換器孔形状嵌合部 3 1 B と第二熱交換器突起形状嵌合部 3 B とを嵌合することにより背面筐体 3 に対して平行且つ上下方向の動きを抑制している。それら二箇所の嵌合部で背面筐体 3 に対して垂直方向及び平行方向の動きを抑制することにより、熱交換器 3 0 の右側が前方に倒れ込むことを抑制している。

また、背面熱交取付板 3 2 の一部である背面熱交嵌合部 3 2 A を覆うように熱交換器リップ形状嵌合部 3 C を嵌合している。さらに、第一熱交換器孔形状嵌合部 3 1 A と第一熱交換器突起形状嵌合部 3 A とを覆うように熱交換器 3 0 の側面に熱交換器側面カバー 1 0 を組み付けている。それらによって、熱交換器 3 0 の壁に対して平行且つ左右方向の動きを抑制している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

以上のように、背面熱交嵌合部 3 2 A を覆うように熱交換器リップ形状嵌合部 3 C を嵌合し、熱交換器 3 0 の側面に熱交換器側面カバー 1 0 を組み付けることにより熱交換器 3 0 が壁に対して平行且つ左右方向に動くのを抑制できる。

また、背面筐体 3 から熱交換器取付板 3 1 (右)の内側と接するように突設された突設板 3 D に、図 3 における、互いに間隔の開いた第一熱交換器突起形状嵌合部 3 A と第二熱交換器突起形状嵌合部 3 B のような位置に、背面筐体 3 に対して平行且つ左右方向に突起した形状の嵌合部を少なくとも二つ設け、熱交換器取付板(右) 3 1 のそれらに対応した位置に孔形状又は凹形状の嵌合部を設ける。それらを嵌合させることにより、背面筐体 3 に対して垂直方向の動き及び平行且つ上下方向の動きを抑制できる。

背面筐体 3 に対して垂直方向の動き及び平行且つ上下方向の動きを抑制することによって、熱交換器 3 0 が前方に倒れ込むことを抑制でき、背面筐体 3 からの浮きも抑制できる。

。